

平成二十七年年度 ヴェリタスこども園入園式 理事長挨拶

園児の皆さん、ご入園おめでとうございます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入園、誠におめでとうございます。

ここからお祝いを申し上げます。様方とこうしてご縁ができましたことを、たいへん嬉しく思っております。

当学園の名前となっております「ヴェリタス」とは、ラテン語で「真理」を意味します。アメリカのボストンにございます、ハーバード大学の校章にも刻まれています。『真理』とは、まことの道理であり、どんなに月日が経過しても、誰にとっても、いかなる場所や状況においても、揺らぐことのない普遍的なものです。

当学園は、この『真理』の追究を根幹に据えて、前身の学校法人最徳学園の設立より40年を超えて取り組んでおります知体徳（ちとくたい）すなわち「知力・体力・徳力を養う幼児教育」という教育理念を発展的に継承しつつ、より国際性豊かな人材育成を目指しております。

ヴェリタス学園の基本教育方針は、次の五条に集約されます。

一つ目は、自分を愛し、家族を愛し、友を愛し、すべての人を愛す、清浄（しよじょう）なところを養う。

二つ目は、愛国心を持ち、誇れる自国文化を他国の人たちに説明できる英語力を養う。

三つ目は、いかなる環境にも耐え抜く強靱な体力と粘り強い精神力を養う。

四つ目は、人の話を聞けるコミュニケーション力と他人を受け入れる寛容力を養う。

五つ目は、社会奉仕の精神とそれを実践する行動力を養う。

これらを簡潔に要約しますと

第一条は、人類愛と清浄心、

第二条は、愛国心と英語力、

第三条は、体力と精神力、

第四条は、コミュニケーション力と寛容力、

第五条は、社会奉仕と行動力、
となります。

かみい、このKey Wordをまとめます。」

五つのスキル…英語力、体力、精神力、コミュニケーション力、行動力と

五つの心…人を愛する心、国を愛する心、清らかで浄化された心、他人を許す寛容の心、社会に奉仕する心、を養うことが本学園の教育方針と言えます。

この社会奉仕の心を養うことは、ヴェリタス学園が子供たちに期待しているノブレス・オブリージエにつながります。ノブレス・オブリージエはフランス語ですが、訳すと「高貴さには義務が伴う」ことを意味します。すなわち「位高ければ徳高きを要す」という意味です。何よりも、徳のある人間教育が根底になればならないということです。

二両親や学校の先生方に、「りっぱに育ててもらおうことで、将来、社会に役立つ仕事ができるようになり、そしてりっぱに生活ができるようになった時、その恩恵に対して社会に貢献することにより、自分が受けた恩恵を社会に還元できる人材に育つ」ということです。これは、園児の皆さん一人ひとりが、在園中のみならず、卒園後、さらに成長される過程においても継続して身につけていただきたいと願っております。

これらが、ヴェリタス学園の目指す教育理念となります。

本日、入園されましたお子様が、これから健やかに、伸びやかに成長していくことができますよう、職員一同、精一杯、真摯に取り組んでまいる所存でございますので、ご臨席の保護者の皆様、ならびにご来賓の皆様には、ぜひともお力添えを賜りますよう、お願いをいたしまして、私の式辞とさせていただきます。

平成二十七年四月十日

学校法人ヴェリタス学園 理事長 永田 良一